

第 12 回 エクストラホール

今回は、リージョナル参加者から多くの質問が来ている「エクストラホール（バランスホール）」についての記事となります。

エクストラホールってなんぞ？っていう方もいるかと思うので、簡潔に説明すると、ボールの横に穴が開いているのを見たことありませんか？

フィンガーとサムホールの中心を基準に前後、左右の重さの差を1オンス以内に収めないといけないルールがあるんです。これをクリアするために1つだけ穴を開けてもいいですよというルールもあります。これがエクストラホールです。特に指をいれて使うわけではありません。

2018年8月から、USBCのルールが一部変更となりました。その中でもchapter 8のDriving Requirementsの部分が今回のポイントです。

英語があんまり強くないので、翻訳サイトに本文をつっこみ、訳してもらったところ、簡単に言えば「条件を緩和するから、エクストラホール開けるの禁止なし」といったところでしょうか。

一応2020年の7月2日までは猶予があるので、それまでは「エクストラホール有、バランス規定は今まで通り」か「エクストラホール無、バランス規定は新しい方」のどちらでもいいようです。

このようなルールの変更に至った理由として、ツアーハンドポウラーが増えてきたことが挙げられます。いわゆる、親指を使わないで回転をかける強い球のポウラーですね。

では、なぜエクストラホール1つでこんなに騒がれるのかを私的に見解で説明してみます。

実は、エクストラホールを1つ開けることで、ボールのコアの数値を微妙に変化させて曲がりを強くしたり、弱くしたりできるのです。この微妙さは回転数があればあるだけ影響も大きくなると思えます。

PBAのトップ選手で回転数を比べてみても、ツアーハンダーの方が100で100以上多いとなると、1つの穴でも差が出て当然です。

通常のポウラーですと、あくまでバランス規定に入るポイントが最優先で、その狭い範囲の中でコアが強くなるであろう場所を狙って開けるわけです。開けたい所に開けるためにレイアウトから計算してドリルする必要もあります。

ですが、ツアーハンダーの場合、この範囲が結構広く自由が利きます。変化させたいポイントが大体バランス規定に入ることが多いのです。

こうなってくると、エクストラホールが開けられるとなると、圧倒的にツアーハンダー有利に働いてしまうという状況になってしまっている現状ですね。

これを少しでも緩和して、平等にしようとした結果、エクストラホールの禁止というルール変更になったのではないのでしょうか？

ドリラーとしては、団地でルールが違ってくるのでちよっと大変ですけどね！

<筆者>



猫をこよなく愛し
猫に愛されたい
とあるポウラー

<好きなもの>
にゃんこ